



THE Y'S MEN'S CLUB OF

WAKAYAMA

"To acknowledge the duty that accompanies every right"

2006年 5月 LT の月

国際会長 主題: Benson Wabule (ケニア出身)	「求めるワイズから行動するワイズへ」
アジア会長 主題: Janet Siew (シンガポール)	「行動するリーダーになろう」
西日本区理事 主題: 佐野 文彦 (四日市クラブ)	「すすめ 愛と勇気をもって」
阪和部会長 主題: 惠美奈 博光 (大阪サウスクラブ)	「楽しく歩もうワイズライフ」
クラブ会長 標語: 東 正美	「クラブに楽しい風を」
クラブ役員 会長: 東 正美 直前会長: 神谷尚孝 副会長: 三木 求 書記: 山田 豊 会計: 吉田絹恵	

5月例会のご案内

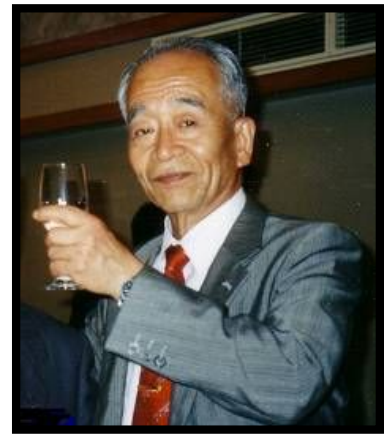
と き: 5月18日(木) 18:30~20:30
 と ころ: 和歌山YMCA会館 6階 ホール
 例会当番: 三木・佐々本
 司 会: 吉田絹恵
 プログラム:
 食前感謝 撫養美弥子
 会 食 一 同
 開会宣言・点鐘 東 正美会長
 会務報告
 ゲストスピーチ「私の生き方」 島崎光郎様
 ハッピーバースデー
 広瀬アワー 広瀬文章
 YMCAの歌 一同
 閉会点鐘 東 正美会長
 * 欠席の場合は、5月16日(火)までに
 平嶋ドライバー委員長までご連絡ください。
 TEL・FAX 073-455-2371

和歌山クラブのチャーター会員 逝く
川口 宏 先生を悼む

神谷 尚孝

川口先生は1924年10月22日和歌山市北細工町で生誕。去る4月23日に6年間闘病の後、ご逝去されました。

和歌山クラブ(1949年12月設立)のチャーター会員として、終始リーダーシップを持って働いて下さいました。特に1954年頃から始まった会員急減の時期に踏み止まり、孤軍奮闘されて、日本区大会や中西部会では唯一人の出席ですからクラブ紹介の時には笛を吹いてアピールされていたことが、全国の古いメンバーの逸話となっています。



カラー写真が普及するまでは写真撮影を趣味として沢山の記録写真を撮って下さいました。1956年に和歌山港堤防の清掃奉仕の際に、Y's 旗に会員のシルエットを配した写真は、ワイズメンズワールド誌に優秀作品として掲載されました。

先生は大阪大学医学部をご卒業後、和歌山県の教育委員会所属の医師として、和歌山県全域を廻り勤められました。山間部の地理に詳しく、各地に知人がいましたので、和歌山ワイズが設立したYMC(ヤングメンズクラブ)の教育キャンプの企画と実施にあたり、大きな働きを続けられました。

精神病院に勤務されていた時代には、BFの古切手の切り取り整理を関係の方々に協力していただき、大きなポイントを生み出した時代がありました。これが今では会員とメネットの働きでBFの好成績を続ける伝統となりました。

万年青年を自負し、体操や短歌をも趣味として、私たち後輩をご指導して下さいました川口様は、和歌山クラブで何時までも先生と呼ばれる存在でありました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

ゲスト紹介 島崎 光郎様

テレビ和歌山報道局次長。1950年大阪市生まれ。京都産業大学法学部卒業。1973年テレビ和歌山に勤務、報道部長などを歴任。和歌山マスタース陸上競技連盟参与他に活躍中。

《 強調 月 間 : L T 》

ワイズリーダーは、クラブ・部・区レベルの如何を問わず全員が事前に十分な研修を受け、任務の遂行に努めなければなりません。もう一度国際憲法・西日本区定款などを読み直しましょう。 佐野文彦理事 (四日市クラブ)

今月の聖句

若いころの情欲から遠ざかり、清い心で主を呼び求める人々と共に、正義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。 テモテへの手紙 二 第2章

4月	在籍	出席	メイクアップ	メット	コメント	ゲスト	出席率	BF	切手	現金	BF計
	19名							4月	0	0	0
	内広義1名	11名	6名	2名	0名	3名	94.4%	累計	13kg 7,800	85,085	92,885

4月 第2 例会報告

書記 山田 豊

日 時：4月13日(木) 18:30~20:30
場 所：YMCA会館 501教室
出席者：市川・神谷・小杉・児玉・小林・佐々本・浜田
東・平嶋・広瀬・堀井・丸山・三木・山田・吉村

1.協議事項 行事予定

1) 4月第1例会について

当番=小杉・吉田、司会=吉村、食前感謝=吉田

受付・会計=吉田、小杉

プログラム内容

(1) クラブ研修会:EMCと今後の展望について

(2) 諸連絡

(3) 誕生祝 : 東 正美(4/24)

2) 5月例会について 楽しむ例会とする。

・6月例会については、西日本区大会後なので1年の評価と反省とする。

3) 2006~07年度ハンドブック&ロースター校正について 各人に回覧、確認。 申込冊数の確認

4) YMCA運営委員(クラブ)推薦について

堀井・小林を継続、佐々本追加 推薦する。

5) YMCA定期総会 5月26日(金)

満70才以上協力会員表彰(10年以上奉仕者)該当者

市川一郎、市川美知子、神谷尚孝、神谷一恵

平嶋千香子、丸山健樹、の皆さん。

25年継続協力会員 本年は該当者なし。

6) クリーンキャンペーン 5月21日は延期となりました。

7) 2006年度YMCA国際ボランティア総会

4月21日(金) 14:00~ YMCA501~2教室。

8) YMCA病院ボランティアの会25周年記念の会

4月22日(土) 12:30~ YMCA6階ホール。

9) 次期中阪和部長(大阪河内) 第1回公式訪問

7月20日(木)

10) 第8回Y'sテニス大会 ~障害者と共に~

4月29日(土)10:00~ シーサイドテニスガーデン舞洲

11) オードリ・ギルグ西日本区フアンド事業主任より

EFオナーロールクラブ宣言に対して 感謝の葉書届く。

12) 大阪サウス50周年記念祝会 10名参加御礼。

13) CSより FF、TOF、お年玉寄付集計結果報告。

YMCAより 第5回Shall We cafe 4月28日(金)。

阪和部新年合同例会実行委員会 第2回委員会報告。

5月~ の Y's 行事

11日(木) 和歌山クラブ第2例会

18日(木) 和歌山クラブ例会

26日(金) YMCA総会

訃報

玉置夫佐子メンのご母堂 玉置ヤスエ様が 去る4月14日享年97歳でご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り致します。

4月 例会報告

書記代理 佐々本厚生

日 時：4月20日(木)18:30~20:30
場 所：YMCA会館 6階ホール
出席メン：市川・神谷・佐々本・中谷・浜田・東・平嶋
堀井・丸山・三木・撫養

メネット：市川・神谷

ゲスト：藤田りか・熊谷真 (YMCA スタッフ)

崔飛 (YMCA 留学卒業生) 様

クラブ内諸連絡

〈第2例会報告と重複するものは省略〉

1. 玉置夫佐子メンのお母上様が亡くなりました。

心よりご冥福をお祈りします。

2. 児玉三千雄メンからの退会申し出を受理しました。

4月1日付

クラブ研修会

EMC と今後の展望

書記代理 三木 求

EMC事業委員会 市川一郎 堀井祉文子 撫養美弥子

4月例会は、「EMC と今後の展望について」をテーマに、クラブ研修会を行いました。研修会では、皆さんのご意見を十分お聞かせいただき、今後のクラブ運営に反映させていければと思っています。

しかし、研修会になりますと、急に無口になる方もいらっしゃるかもしれませんが、今回は、A班とB班に分け、ブレインストーミング方式により紙(基本ラベル)にご自身のご意見等を無記名で記入していただき、それを皆で協議しながら同じ内容のものをグループ化し、今度はそのグループ分けしたものに表札ラベルを参加者全員で相談しながら作成し、最後は模造紙に糊付けして、代表者が発表すると言うものでした。

[A班]

「例会の場所を考える。」

・時々違った場所で例会でも

「例会の中身を楽しいものにする。」

おいしい食事 手品・マジック・名

人芸の披露 体験できるゲーム(廣瀬アワー)ワイズソング以外の歌を歌う。(民謡・童謡等)

「例会以外に時間のある人は早く出席したり、せつかく30分早く終わるようにしたので、別の場所でお茶を飲んだり肩の張らない時間を持つようにする。そうすることによってコミュニケーションが図られる。」

[B班]

「積極的に友人知人に声かけすべきただ!!」

「例会は、楽しいプログラムにするべきただ。」

「コミュニケーションを大切にすべきただ。(思いやりの心)」

「分かりやすい地域奉仕活動を展開すべきただ。」

「積極的に広報をすべきただ!!」

なお、今回の研修会を一過性に終わらすのではなく、皆さんからのご意見や課題等は、中谷次年度 EMC 事業委員長に引き継いでいただき、今後の EMC に反映していただくことになりました。



川口 宏チャーター逝く メンたちの悼む言葉

市川: 私が27歳の若さで入会した最初の頃は、川口先生に色々ワイズの事を教えて頂きました。日本区大会への参加が少人数でしたので、先生がホイッスルをピーピーと吹いて和歌山クラブの存在感をアピールした事が昨日のように想い出されます。和歌山クラブの発展に大変尽力されましたことに感謝いたしますと共に今後も一層皆で力を合わせて頑張っていきます。

安らかに眠ってください。

市川: チャーターメンバーの川口様、天に召され謹んでお悔やみ申し上げます。淋しくなりました。言い尽くせない程のご恩を受け感謝申し上げます。

玉置: ご冥福をお祈りいたします。天国より私達を Y's を YMCAをお見守り下さい。

浜田: 長い間のお付き合いでしたと言ったら、あつかましいでしょうか？ 学生時代に 結婚後は義母が またワイズメンで… 先生をお慕い申し上げて40年以上かと思えます。俳句 山登り 体操と数々の趣味をお持ちの先生でした、お別れですね。 ご冥福をお祈り致します。

東: こよなく Y'S メンを愛し、和歌山クラブを愛された川口先生、温かく豊かなお心に包まれた私達は幸せでした。先生、どうぞやすらかに。心からの感謝を込めて、ありがとうございました。

平嶋: 和歌山クラブの象徴のような川口先生も遂に天に召され又大きな星の一つが失われたようで、淋しくなりました。五十年余りの長い間、こよなくワイズを愛し続け又ワイズメンとして尽くされた方の数少ないうちの一人であったと確信しておりました。例会ではいつもワイズソングを胸を張って、はりのある美声で皆をリードして唄って下さった事が、ほほえましく印象に残っています。安らかに眠り下さい。心からご冥福をお祈り申し上げます。

堀井: 何時も美香さんと一緒に、嬉しそうにニコニコされていた川口先生の笑顔が今も思い出されます。ご冥福をお祈り致します。

丸山: 私が川口宏さんに初めてお目にかかったのは、1950年6月のクラブ例会でした。その年の3月に就職し、同じ教会員で当時のワイズメンバーだった藤田重次さんに強く誘われゲストとして出席しました。その時に書記でもあった川口さんからワイズの事を色々伺いましたが、経済的な理由もあってワイズから遠のき、実際に入会したのはそれから20数年後でした。入会して最初の日本区大会が奈良で行われ、川口さんと同室で色々話し合うことができたのが、ついこの間のように思えます。また、屏東クラブの周年記念や台湾区大会に何度か一緒に旅行したことが思い出されます。

三木: 和歌山クラブの誕生からずっと見守ってくださった川口宏メン、本当にありがとうございました。そして安らかに

吉田: 目に浮かぶ光景は、いつもニコニコしながら声を掛けて下さる姿が忘れられません。美香さんは先生に育てられ、しっかりなさっていますのでご安心を!! 私達も出来得る

限りお守りしていきます。

吉村: チャーターメンバーとして永きにわたりご活躍されました事、私達の心の中にいつまでも残っています。どうぞ安らかに眠りください。

田中: 素敵なパートナーに恵まれ、誰からも羨まれる人生でしたね。

☆☆☆ 25年をありがとう！

病院ボランティアの会 記念の会 佐々本厚生

日時：2006年4月22日（土）13:00～18:00

場所：和歌山YMCA会館 6階ホール

和歌山クラブからの参加：小林・佐々本・浜田・平嶋・吉田
会員数45名で、和歌山労災病院を活動場所に、毎週月・火の2日、受付案内や衛生材料のミシン作業などのボランティア活動をしている「和歌山YMCA病院ボランティアの会」が25周年を迎えた。

25周年記念の会は、第1部の式典では関係者から“生きがいを感じる活動を…”“25年間もの継続に価値が…”“ボランティアに価値を認めた人たちの団体…”と賛辞を頂き、第1部の記念講演では別名あやしや小丸さんの落語並みの楽しいお話しをして頂きました。

「ボランティア・介護はこころ美人で」という事で、to have (カネ、モノ)の世界から to be (存在、こころ、生き方)のボランティアの世界は、他人と心の交流・共感協力→自己の向上創造をこころの栄養にして 笑顔・喜び上手な美人になって活動して下さいとの要旨でした。第2部では恵美奈博光、富紀子



夫妻率いるハニースマイルの楽しいトークと演奏で懇親会が進められ、和やかな時間が過ぎていきました。



2006年度 和歌山YMCA 国際ボランティアの会 定期総会開催

東 正美

日時：2006年4月21日（金）午後2時～4時

会場：和歌山YMCA 501～2 教室

第一部 総会の中でチューター活動報告があり、チューターの方と学生の皆さんとの心の交流の様子が発表されました。

第二部 交流会には、今年度4月に入学されたばかりの留学生が自己紹介をされて、私達は充実した学生生活を願いつつ、また新しい出会いを喜びました。
参加：神谷、東

大阪サウスクラブ 50周年記念式典・祝会
盛大に開催される！

三木 求

日 時：平成18年4月8日(土) 12:00～16:00
場 所：大阪国際交流センター(大阪市天王寺区上本町)
和歌山クラブからの参加者：市川・東・浜田・平嶋・丸山
三木・撫養・吉田・吉村・市川メ(総参加者216名)
第1部の式典では、2名いらっしゃるチャーターメンバー(吹留辰雄・山口肇メン)に今までのご労苦に感謝を込めて、チャーターメンバー表彰されました。また、「やりませ YMCA と共に」の思いをこめて自動車(バンタイプ)の贈呈等が行われました。

第2部の記念講演では、昨年亡くなられた大阪サウスクラブの威仁公さんが、生前ぜひ50周年記念例会で講演をと依頼していた西田真哉氏が、「青少年支援に期待するもの」というテーマでご講演いただきました。

第3部の祝会では、おいしい料理と飲み物、それに大阪音楽大学出身の若手演奏家で構成された50周年記念カルテットによる演奏等で、大いに盛り上がりました。それにしても、クラブの周年記念例会での216名の会場は、その人数のボリュームは圧巻でした。

大阪サウスクラブの50周年を心からお祝い申し上げますとともに、今後のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。

阪和部ファンド事業へのご協力のお礼

ファンド事業主査 三木 求(和歌山クラブ)

今年度が始まる前、阪和部ファンド事業主査にというお話が出てから、「とでもとも小生には荷が重過ぎるのでは」と、自問自答した時期もありましたが、スタートして、また10月のBF 強調月間には、BF へのご協力の依頼に各クラブを訪問させていただき、BF へのPR以上に、私自身にとって各クラブの例会の雰囲気と直接接することができ、かけがえのない体験をさせていただきました。しかし、3月のEF・JWFに照準をあわせて、再度各クラブを訪問させていただく予定でしたが、忙しさに取り紛れ実現できなかったことが悔やまれます。

なお、今年度BF デリゲートのフルグラントに、阪和部から2名のご応募をいただきました。また、BF 古切手も、各クラブにおいて積極的にご協力をいただきました。

本当にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

なお、各クラブの古切手(ただしBF 現金を除く。)のご協力数量は、次のとおりです。(4/1までの連絡済分)

和歌山クラブ	13 kg	奈良クラブ	1.16 kg
大阪サウス	4 kg	大阪河内クラブ	1.8 kg
大阪長野クラブ	1 kg	大阪泉北クラブ	2 kg
大阪サザンスカイクラブ	3 kg		

【 誕生日おめでとう 】

5月 9日 小杉 幸代

5月12日 神谷 尚孝

和歌山 YMCA NEWS 5月の予定

1. **健康教育事業**(ウエルネス・センター)
・リーダー着帽式 27日(日)
2. **語学教育事業**(ランゲージ・センター)
・特になし
3. **国際福祉専門学校**(日本語科)
・遠足 22日(月)
4. **国際福祉専門学校**(介護福祉士学科)
・体験入学会 14日(日)
5. **全体行事**(総務)
・開館 1・2日(月・火) 閉館 3・4・5日(水・木・金)
・第1回 理事会 23日(火)
・定期総会 26日(金)
・第1回評議委員会 30日(火)

和歌山クラブ CS・TOF・FF 集計 吉村佐知子

2005. 7. 1～2006. 3. 26

CS	各人 6,110～130	計 40,610
TOF	各人 2,000	計 40,000
FF	各人 12,000～1,000	計 30,000 合計 110,610円

2007年 阪和部新年合同例会
第2回 実行委員会

委員 三木 求

第1回実行委員会において、次のとおり決定しました。

日時:2007年(平成19年)1月8日(月・祝)13時～16時頃

会場:ホテルグランヴィア和歌山 6階

会費:8千円(メン・メネット共)、

また、プログラムの中でアトラクションの方向性について、各クラブ単位で新春にふさわしいアトラクション(歌・踊り・楽器の演奏・寸劇等、何でも可)をしていただき、阪和部全体で大きく盛り上げる…ということで検討いたしました。

しかし、アトラクションに関しては、対応できるクラブもあれば、できないクラブもあることや、年末年始のお忙しい時期に余りにもご負担をおかけするのは…という思いから、むしろ大人の雰囲気でお楽しみいただいた方がベストではないのか…というご意見もあり、改めてプログラムの内容について検討しました。

その結果、ワイズに連なる方々や、セミプロあるいはプロの音楽家をお願いをするということで、今後出演者を選考していくこととなりました。

みなさん！新春にふさわしい出演者がいらっしゃれば教えてください。

第3回実行委員会の開催:5月11日(木)午後6時30分(第2例会前)和歌山YMCA(お時間があれば、どなたでもご出席いただいて結構です。)

なお、和歌山クラブ4月号ブリテンに「第1回実行委員会の報告」を投稿しましたが、投稿者「委員長 三木求」となっていますが、委員長はまだ決まっておられません。念のため書き添えさせていただきます。

あとがき

5月に入って気温も上がり初夏のきざしがちらほら…。和歌山クラブも新年度に向けて新しい兆しが… (ささ)